

## 研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
C-540	22-326	慶應義塾大学 加藤眞三
<b>題名 (原題/訳)</b>		
Simultaneous Management of Alcohol Use Disorder and Liver Disease: A Systematic Review and Meta-analysis. アルコール使用障害と肝疾患の同時管理：系統的レビューとメタアナリシス		
<b>執筆者</b>		
Elfeki MA, Abdallah MA, Leggio L, Singal AK.		
<b>掲載誌</b>		
J Addict Med. 2023 Mar-Apr 01;17(2):e119-e128. doi: 10.1097/ADM.0000000000001084.		
<b>キーワード</b>	<b>PMID</b>	
アルコール使用障害、肝臓病、肝不全	36259647	
<b>要 旨</b>		
<p><b>目的：</b> アルコール使用障害 (AUD) の管理は、肝疾患患者ではほとんど行われていない。我々は、肝疾患患者における AUD 管理の影響を検討するためにシステマティックレビューを行った。</p> <p><b>方法：</b> 肝疾患患者 38,329 例 (AUD 介入を受けた 7072 例) (肝疾患患者 15 例、肝移植 [LT] レシピエント 6 例) を対象とした包括基準および除外基準を満たす 20 の研究を解析した。1 つの研究は両群に共通であった。研究間で変動する追跡期間は、サンプルサイズの重み付けを行い、人年に換算した。主要アウトカムはアルコール使用、副次アウトカムは肝機能低下と患者の死亡であった。</p> <p><b>結果：</b> 肝疾患患者における AUD 介入による禁酒率およびアルコール再発率/人年は 0.41 (0.27-0.55) および 0.42 (0.30-0.755) であり、統合型 (肝臓クリニックと中毒クリニックを併設) 介入と併用型 (肝臓クリニックと中毒クリニックを分離) 介入で同程度であった。標準治療と比較すると、AUD 介入による代償不全のオッズ (n=1) 、30 日再入院のオッズ (n=1) 、患者死亡のオッズ (n=2) はそれぞれ 44%、59%、58%低かった。同様の数値は、断薬で 1.24 (0.86-1.80) 、再発で 0.52 (0.24-0.14) であった。LT を受けた患者において、アルコール再発および死亡のオッズは、中毒治療チームと統合されたフォローアップと肝臓内科単独とでは、それぞれ 0.48 (0.25-0.72) および 0.29 (0.08-0.99) であった。</p> <p><b>結論：</b> 依存症チームと統合されたクリニックでの LT レシピエントのフォローアップは、転帰の改善と関連している。肝疾患患者における AUD の同時管理は、肝臓関連の転帰を改善する。肝疾患患者における AUD 介入の有益性を検討するためには、大規模な前向き研究が必要である。</p>		